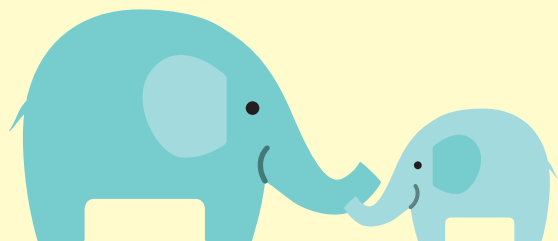


保護者の笑顔が 子どもの笑顔に

～子育てに悩んでいるのは一人じゃない～



子どもと保護者の
相談マップ



【相談内容】(例)

- ◆子どもの友人関係が気になる
- ◆子どもの発達のことが心配
- ◆子どもへのかかわり方に悩んでいる
- ◆学習状況や進路のことが心配
- ◆子どもが学校に行きたがらない
- ◆子どもに非行など心配な行動がある
- ◆家族関係で心配なことがある
- ◆すぐく落ち込むことがある
- ◆近所に気になる子どもがいる
(行き過ぎたつけ、保護者が世話をしている様子がない、服装のよごれや健康状態が気になるなど)
- ◆そのほか人に言えない悩みがある

あなたの声を聞かせてください!

他にも、周りの人に聞いてみたい「子育てマイルール」、相談したい「子育ての悩みや不安」など、アンケート専用フォームにアクセスしてご回答ください。(無記名)「子育て環境日本一」の実現に向け、活用します。ご協力をお願いいたします。



京都府総合教育センター
京都府総合教育センター北部研修所

【相談内容】

不登校、いじめ、友人関係、学習等の学校生活のことや家庭内での気がかりな行動等

【相談方法】

- ◆24時間電話教育相談 ふれあい・すこやかテレフォン
075-612-3268 または 3301 0773-43-0390

- ◆メール教育相談 (携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください)

パソコン http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/cms/index.php?key=joj4hvm0o-178#_178
からは

携帯電話
からは



あるいは、

メール教育相談 京都

で検索してください。

- ◆来所教育相談

京都府総合教育センターまたは京都府総合教育センター北部研修所まで直接来所いただいて相談できます。詳しいことは「ふれあい・すこやかテレフォン」へお問い合わせください。

- ◆巡回教育相談

お住まいの近くの教育局などにカウンセラーが出向きます。月に1~2回、決まった曜日・時間の相談となります。詳しいことは「ふれあい・すこやかテレフォン」へお問い合わせください。

きょうと子育てピアサポートセンター
ポータルサイト

〈妊娠・出産・子育て支援の情報を掲載〉



ご活用ください! ホームページに掲載しています。

聞いてみよう!
いろいろ・いっぱい

家庭教育資料



子育てマイルール



保護者の笑顔が 子どもの笑顔に

京都府教育庁指導部社会教育課

TEL 075-414-5886 令和4年3月発行

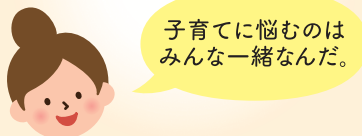
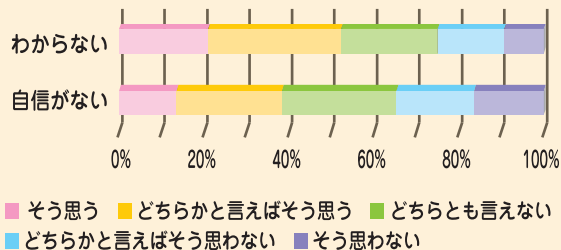
このパンフレットは「令和3年度京都府家庭教育支援協議会」のご協力により作成しました。

京都府教育委員会

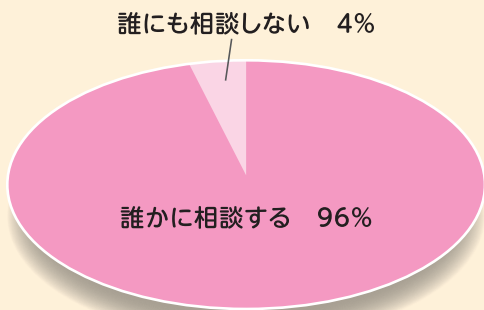
京都府の保護者へのアンケートによると…

「家庭教育支援の充実に向けたアンケート」京都府教育委員会(令和2年7月～9月)
対象:小学校1年生の保護者約5,215人 有効回答数:3,730人

- 子育てについて、約5割の保護者が「どうしていいかわからない」、約4割の保護者が「自信がない」と回答



- 子育てについて悩みがある時、あなたはどのようにしますか？



- 96%の保護者が子育ての悩みを「誰かに相談」されています。
- 「誰にも相談しない」という保護者の中には、「本やインターネットで調べるので相談の必要がない」という回答もありますが、「相談相手がない」「誰に相談していいかわからない」などの回答も。

一人で悩みを抱え込まないようにされているのはとってもいいこと!



でも…自分の悩みをだれかに話すとて勇気がいるんですね…。

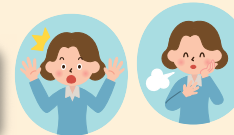


けれど、身近な人に話してみると、子育てのヒントが得られたり、ちょっと気持ちが楽になったりするかも。

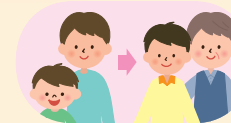


悩みや不安を身近な人と話してみると…

子育ての答えは1つじゃない。保護者の数、子どもの数だけあります。



自分と似た考えにホッとする。自分と違う考えにハッとする。



子どもが成長し、保護者も成長し、関わり方もどんどん変化していきます。

子育てに悩んだら、**身近な人**に



身近な人だからこそ話にくいという場合は、**専門機関**に

周囲の力を借りると解決することやまだ気付いていない支援やサービスに出会えることも

いろんな考え、いろんな答え、身近な人に聞いてみませんか？

子育てを支える身近な人たち



約束・ルール



つい感情的に叱ってしまった! あとから後悔することもあるよなあ…。



けんか

— 子どもを叱るときのマイルールはありますか? —

「一緒に片付けよう。」



「どうすれば
よかったかな?」

「何をしようと
していたの?」

叱らず、正直に話して
くれたことを褒める。

人格を否定するような言い方はしない。

子どもには自分のことを
好きでいてほしい。

叱り役、褒め役、
役割分担してフォロー

子どもが
落ち着いたら、
今の気持ちを
聞いてみる。



たたかない。
どならない。

叱った後、
いつまでも引きずらない。
何事もなかったように
普通に接する。

「あの時も」「いつも」と
前のことは言わない。

関係ないことまで
持ち出して叱らない。



叱りっぱなし
にしない。

「これからどうしたらいいかな?」
子どもが自分で考えて、自分の言葉で
言えるように、落ち着いて話したい。

両方の
言い分を
聞く。



「傷つく人は?」

「お兄ちゃんだから。」
「お姉ちゃんだから。」と言わず、
個人として見て、話す。

まずは
ぎゅっと
抱きしめる。

「けがは?」体の心配。
「あなたが大事」
が伝わるように。



自分や周りの人への
危険な行いには
しっかり向き合う。
真剣に叱ることが大事。

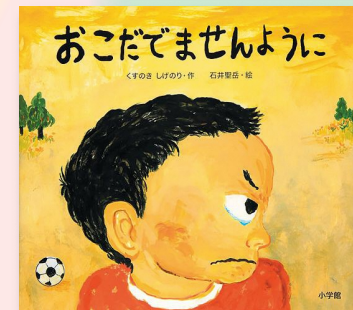
命に関わる
大切なことは
繰り返し伝える。

危険



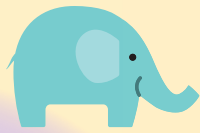
文: カール・ノラック
絵: クロード・K・デュボワ
訳: 河野 万里子
発行所: ほるぷ出版

「子どもの目線から、
気持ちを想像する」
って、とっても大切



作: くすのき しげのり
絵: 石井 聖岳
発行所: 小学館

子どもと一緒に
絵本と一緒に
【委員おすすめの本】



子どもをもっと褒めて育てたい!



— 子どもを褒めるときマイルールはありますか? —

自分のことで
がんばった

家の中
(おてつだいなど)

「結果」だけでなく、「過程」も褒める。

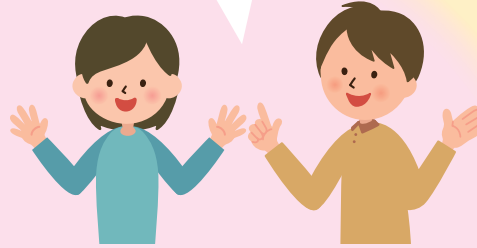


「最後まであきらめずに
がんばったね。」

簡単なことでも、
子どもが「できた!」と
いうことを一緒に喜ぶ。

身近な人たちのマイルールを
聞いてみるのもいいかもしれないね。

満面の笑みで
身振り手振り
を添えて



人と比べて、
その子の成長に
合わせて褒める。

やってみようとする
気持ちに寄り添い
見守る。

「助かったよ。
ありがとう。」

家族がそれぞれ
いろんな
目線から
褒める。



「〇〇したの?うれしいな!」と、
うれしい気持ちになったことを
伝えるようにする。

「〇〇できたら、もっといいのに」など、
褒めた後に付け足して
悪い点を言わない。

本はともだち?!
他にもおすすめ絵本はこちら→
(家庭教育資料リーフレット)



当たり前のことが当たり前
できるようになっていることを褒める。

あいさつ



自分のことを
自分で

当番を
こつこつ

友達と
仲良く



家の外
(幼稚園・学校
・地域など)

抱っこ
しながら
褒める。



「すごいなあ」ではなく、
具体的なことを
褒める。

身近な人が
褒めてくれたことを
一緒に喜ぶ。

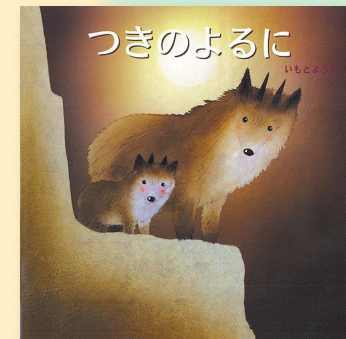
毎日がんばっている
自分のも
ちゃんと褒めて
くださいまし〜。



大人だって
褒められると
嬉しいです〜。

「いてくれるだけで
うれしい」ことを
伝えるって、とっても大切

文: サム・マクブラットニー
絵: アニタ・ジェラーム
訳: 小川 仁央
発行所: 評論社



「心のきずな」
が子を育てる。
作・絵: いもとようこ
発行所: 岩崎書店

子どもと一緒に
絵本と一緒に
【委員おすすめの本】